



至誠・致知・鍛錬

甲斐市立双葉中学校
学校だより
発行 校長 中村 忍
平成30年度 第14号
3月 4日 発行

「運命の扉を開く（運命は断固たる意思をもって前進をする人に、無限の力を与えてくれる）」迷ったら困難な道を選ぶ。向き不向きより前向きに取り組む。やらない後悔よりやった経験をする。そして、内から美しい気が満ちあふれるような人生を切り開いていきたい。



「小中連携研究会」

2/4（月）に、授業づくりネットワーク理事長 石川 晋 先生を招聘し、小中連携研究会を行いました。今回は、中1ギャップの解消に向けた小中の連携に関する取り組みについて、実践事例を共有し、具体的な実践方法を話し合いました。また、小中連携の意義や、実践の工夫について、先生方から貴重なご意見を伺いました。今後の小中連携の推進に繋がりますように思います。



「1年福祉講話」

2/7（木）に、1年生を対象とした福祉講話を実施しました。目の不自由な、白濱 颯子先生と盲導犬のクラリーくんが講師として来校しました。体育館での講話でしたが、1年生全員が、集中して話を聞き入っていました。生徒の生活環境を考えたとき、自分自身も、社会の一員として、中学生として、今できることを実践していきたいと思います。



「社会を明るくする運動」発表会

2/5（火）に玉穂生涯学習館で、「社会を明るくする運動」作文発表会が行われました。本校から、2年鷹左 渉吾さん「人と人とのつながり」、2年井上 萌々花さん「私たちの平和な未来のために」の2名が発表しました。人と人とのつながりを大切にしていこうと、支え合うことが、明るく温かい未来へつながっていくことや、地域全体でコミュニケーションがとれていくこと、昭和のよき時代に立ち返り、みんなで見守る社会の実現すること等、とても素晴らしい提案だったと思います。



「新入生説明会・学習体験」

2/8（金）に、「平成31年度入学予定者・保護者のための学校説明会」を開催しました。入学予定者145名の児童と、その保護者のみなさんに参加していただきました。まず、3年生の5クラスに分かれて、5校時帯の1時間、本校の生徒と一緒に体験学習をしてもらいました。中学校3年間の集大成の授業を肌で感じていただきました。体育館に移動後は、1年生の合唱による歓迎セレモニーと生徒会による学校紹介を行いました。希望で満ちあふれた児童のみなさんが、安心して楽しく過ごすことのできる中学校として、通ってよかったと思える中学校として、3年間を築き上げていきたいと思います。



「日本一の下駄箱 ParuPiの巻頭特集で紹介」

2/5（火）に、「生活情報誌ParuPi」が取材に来ました。本校の「日本一の玄関」から始まり、「整理整頓されたロッカー」「至誠の鐘」等の取り組みについて取材を行いました。

この様子については、甲斐市、中央市、昭和町に配布された「生活雑誌ParuPi 3月号」の巻頭特集で掲載されました。

こうして、伝統となっている双葉中生の日常での取り組みが評価され、地域に発信され知っていただくことは、これからの生徒たちの活動の励みとなります。

今後も、地域と共に、双葉中を双葉地区を愛する生徒の育成に努めていきたいと思っております。



「H31年度山梨県教育指導重点」

2/14（木）に、山梨県総合教育センターにおいて、山梨県教育委員会から「H31年度山梨県教育指導重点」の説明会がありました。

新「やまなしの教育大綱（仮称）」、新「山梨県教育振興基本計画（仮称）」の方向性に基づいて、来年度は、以下のことに重点をおきながら、県内の中学校において教育が進められていきます。

- 学習指導要領の趣旨や内容に基づいた適切な教育課程を編成し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善及び評価に取り組み、新しい時代に必要となる資質・能力の育成に努める。
（問題解決的な学習の質的向上 記述内容を取り入れた授業の実施 小中合同研究会の開催）
- 豊かな心の育成を目指し、校種を越えた連携や学校教育活動全体を通じた取り組みを推進し、いじめを許さない集団づくりと不登校児童生徒が生じない環境づくりに努める。
（道徳の授業公開の実施 校内教育相談体制の見直し 情報モラル教育の推進 学校いじめ防止基本方針の周知 いじめ・不登校校内研修 欠席が続いている生徒への組織的対応）
- 学校教育活動全体を通じて、自ら運動を実践する態度を育成し、体力向上を図り、食育並びに心身の健康の保持増進及び安全に関する指導を相互に関連させながら、望ましい生活習慣の形成に努める。
（運動習慣・朝食摂取・十分な睡眠の定着 一校一実践運動の取り組み テスト・調査に基づく体育の授業改善 体育理論による指導 健康・安全に関して教科を横断した実践 食に関する課題に応じた取り組み 学校安全計画の改善）
- 地域の特色を生かした学習活動に取り組むとともに、外国語教育を適切に実施し、ふるさとに誇りを持ち、グローバル社会の中で様々な人々と協働できる資質の育成に努める。
（郷土学習の推進 英語における5領域の着実な実施 CAN-DOリストによるパフォーマンス評価の実施）
- 特別支援教育に関する専門性の向上に努め、多様な学びの場（通常学級・通級による指導・特別支援学級・特別支援学校）における教育の充実を図る。
（専門性向上のための研修の実施 多様性を認め合える機会の設定 校内委員会の実施）

表彰等

山梨県中学新人駅伝大会 第2位 双葉中陸上部 区間賞2年

社会を明るくする運動作文コンテスト 感謝状 2年

山梨県剣道連盟表彰 3年

やまなし環境美化推進標語コンテスト 優秀賞 1年

「チーム双葉中」

教職員40名 生徒450名 保護者407名が

「チーム双葉中」として取り組んでいます。

学校住所：〒400-0106 甲斐市岩森1337

電話：0551-28-2019 FAX：0551-28-5689

ホームページ <http://www.city-kai.ed.jp/fchu/> も併せてご覧ください。